

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 外国語 ）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 東京書籍 ） 発行者番号（ 2 ）	発行者（ 開隆堂出版 ） 発行者番号（ 9 ）	発行者（ 三省堂 ） 発行者番号（ 15 ）
1 内 容	<p>①生徒の活動や題材は、目的・場面・状況を意識し、状況を推測して深く考える活動ができる内容を扱い、各単元末に向けて系統的に活動を積み上げている。よりリアルな場面設定での活動もある。</p> <p>②英文の内容は、1ページ当たり1時間を基本とし、各Unitのパート構成を同じにすることで、学習の流れを見通しやすくしている。また、段階的に英文の量や活動の種類を増やすよう構成されている。</p> <p>③第1学年導入時の内容(動詞関係)は、(【Unit1】各2時間扱い) 1)I'm/I like 2)Do you?/don't 3)Are you?</p>	<p>①生徒の活動や題材は、音声から学習内容の導入を行う。1単元に2,3回既習事項を用いた即興での活動等により現実的でよりリアルな活動ができる。各単元末に向けて系統的に活動を積み上げている。</p> <p>②英文の内容は、単文から重文・複文へ、具体的な内容から抽象的な内容へと配列されており、生徒の成長に対して見通しをもった構成と内容となっている。</p> <p>③第1学年導入時の内容(動詞関係)は、(【Program1,2】各1時間扱い) 1)I'm/You are 2)Are you/Where 3)I have/ don't 4)Do you/When</p>	<p>①生徒の活動や題材は、各単元末に向けて系統的に活動を積み上げている。また、現実的でよりリアルな活動になるものを取り上げている。</p> <p>②英文の内容は、レッスンの最後に置かれた「Goal Activity」に向かって、とびらから段階的に学びを積み重ねていく構成になっている。スモールステップで身に付いた力が実感できる内容となっている。</p> <p>③第1学年導入時の内容(動詞関係)は、(【Lesson1】各2時間扱い) 1)I'm / I like 2)Are you?/Do you?</p>
2 構成・分量	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 (be 動詞、一般動詞、代名詞〈主格〉、助動詞 can、疑問詞、命令形、複数形、3人称単数現在形、代名詞、進行形、疑問詞、不定詞〈名詞的用法〉、look 形容詞、一般動詞の過去形、be 動詞の過去形) 第2学年 (未来形、接続詞、不定詞、have to, must、動名詞、疑問詞 to、形容詞 that、比較級、受動態) 第3学年 (現在完了形〈経験用法〉、makeO、SV0that、現在完了形、現在完了進行形、不定詞を含んだ表現、間接疑問文、分詞、後置修飾、関係代名詞、仮定法) <p>特徴としては、第1学年の教科書で be 動詞が最初に出てくる。</p> <p>②単元に関しては、目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら構成されている。</p> <p>③語彙に関しては、小学校で学習したと見なされる語を630語と設定し、中学校の新出語約1700語を加えた約2300語を扱っている。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 (be 動詞、一般動詞、複数形、命令文、助動詞 can、3人称単数現在形、代名詞、疑問詞、there is 構文、現在進行形、過去形) 第2学年 (未来表現、動名詞、接続詞、不定詞、助動詞、SVOC、SVOO、比較表現、受け身) 第3学年 (現在完了、後置修飾、間接疑問文、関係代名詞、仮定法) <p>特徴としては、【Tuning in】【Coffee break】など生徒に身近な話題が組み込まれている。</p> <p>②単元に関しては、4技能5領域の言語活動をバランスよく配置し、5つのアイコンで領域を分かりやすく示している。</p> <p>③語彙に関しては、小学校の既習後を606語に設定し、中学校の新出語には1644語が設定されている。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 (be 動詞、一般動詞、複数形、代名詞、疑問詞、命令文、3人称単数現在形、助動詞 can、現在進行形、過去形、過去進行形、未来表現、SVOC) 第2学年 (接続詞、to 不定詞、there is 構文、動名詞、SVOO、SVOC、比較、助動詞、tell A that、現在完了形) 第3学年 (現在完了進行形、受け身、後置修飾、関係代名詞、仮定法) <p>特徴としては、1年で過去進行形、未来表現教科書まで学習。2年で現在完了が入り、3年で受け身を学習する。</p> <p>②単元に関しては、目標となる言語活動に向けて必要なことを、レッスンを通じて段階的に学び、経験し、考え、表現する構成になっている。</p> <p>③語彙に関しては、小学校で学習したと見なす語彙(600~700語)と中学校で学習する語彙(1600~1800語)を設定している。</p>
3 表記・表現	<p>①各課の目的・目標は、各課の扉にゴールの確認が日本語で表記され、その課の終わりにゴール活動【Unit Activity】がある。巻末のCAN-DO リストでは、5領域別にステージごとに自己評価ができる。</p> <p>②音読の回数表記は、各Unitのセクション上部に英数字の表記がある。</p> <p>③小学校で習った単語の表記は、各ページに「小学校の単語」がある。巻末「Word List」では、単語の前にマークを付けて表記されている。</p>	<p>①各課の目的・目標は、各課の扉にゴールの確認が日本語で表記され、各ページにも達成度を自己評価できる表記がある。巻末のCAN-DO リストでは、5領域別に単元ごとに自己評価ができる。</p> <p>②音読の回数表記は、各Program ページのNew Words 欄下部にある。</p> <p>③小学校で習った単語の表記は、各ページに「小学校で学んだ単語」がある。巻末「単語と熟語」では、単語の前にマークを付けて表記されている。</p>	<p>①各課の目的・目標は、各課の扉にゴールの確認が日本語で表記され、その課の終わりにゴール活動【Goal Activity】がある。巻末のCan-Do リストでは、5領域別に自己評価ができる。</p> <p>②音読の回数表記は、各Lessonの各ページの上部にチェック欄がある。</p> <p>③小学校で習った単語の表記は、若葉マークを目印としてまとめて表記されている。巻末「単語の意味」では、単語の前にマークを付けて表記されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①サイズはA4版。</p> <p>②単元(Unit)以外のページは、学期ごとに発表・説明・意見【Stage Activity】がある。ほぼ単元ごとに場面に応じた言語活動【Real Life English】がある。【Let's Read】が3か所ある。</p> <p>③巻末資料は、語彙数を補うものが多い。語彙以外では、補足的な内容が多い。辞書ページでは小学校で既習の単語と中学校で初出の単語について説明されている。</p> <p>④二次元コードは、本文音声やクイズ、文法事項の解説動画を見て、予習・復習をすることができる。デジタル資料編では、英語音声の基本的学習や、【Small Talk】の質問動画などで学びを深められる。</p>	<p>①サイズはA4版。</p> <p>②単元以外のページは、学期ごとにパフォーマンス活動【Our Project】がある。学期2回程度場面に応じたコミュニケーション活動【Power-Up】がある。Reading が第2学年・第3学年で学期ごとにある。</p> <p>③巻末資料は音声面・語彙面での補足的な内容が多い。第1学年のみ、Action Card が添付されている。辞書ページでは、小学校で既習の単語も中学校で初出の単語も同様に扱っている。</p> <p>④二次元コードは、本文の通し音声を聞くことができる。【Scenes】や【Grammar Points】の動画を見ることで、各活動での多様な学習が可能となる。単語学習アプリで新出単語、熟語の定着が高められる。</p>	<p>①サイズはA4版。</p> <p>②単元以外のページは、学期ごとに発表【Project】やwriting、ペアやグループ活動がある。単元終了後身近な場面を想定した言語活動【Take Action】がある。学期ごとにReading のページがある。</p> <p>③巻末資料は音声面・語彙面の補足的な内容、Further Reading、自学用リスニング教材、会話表現がある。辞書ページは、小学校既習単語と中学校初出単語の区別はなく、実際の辞書に近い解説がある。</p> <p>④二次元コードは、各ページごとに本文の音声を聞いたり、文法解説動画を見て予習・復習・練習をしたりできる。辞書ページでは実際の辞書と同様な画面を見て、単語の知識を深めることができる。</p>

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 外国語 ）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 教育出版 ） 発行者番号（ 17 ）	発行者（ 光村図書出版 ） 発行者番号（ 38 ）	発行者（ 啓林館 ） 発行者番号（ 61 ）
1 内 容	<p>①生徒の活動や題材は、各単元末に向かって系統的に活動を積み上げていている。また、生徒自身の経験等を表現する具体的な言語活動を各コーナーに配置している。</p> <p>②英文の内容は、発達段階に適合した内容を選択し、配列している。また、学校や地域、国内、海外へ様々な分野について、徐々に視点が広がっていくよう構成されている。</p> <p>③第1学年導入時の内容(動詞関係)は、(【Lesson 1】各2時間扱い) 1)I'm/I like /You like/ don't 2)Are you/Do you 3)can/ It's</p>	<p>①生徒の活動や題材は、5領域の言語活動をバランスよく配置している。また、該当する領域のマークを表示している。</p> <p>②英文の内容は、1年では夏祭りや初詣、2年では外国旅行や防災教育、3年ではAI や平和学習など、身近な題材から徐々に視野を広げ、社会の様々な問題について考えを深められるよう構成されている。</p> <p>③第1学年導入時の内容(動詞関係)は、(【Unit1】各2時間扱い) 1)I'm 2) I like /don't 3) can</p>	<p>①生徒の活動や題材は、聞く活動を重視しながらも、5領域の言語活動をバランスよく配置している。また、該当する領域のマークを表示している。</p> <p>②英文の内容は、主単元のUnitにおいて、生徒の興味・関心を喚起する内容を扱っている。各単元では目標を明示し、単元末には振り返り・自己評価する機会を設けている。</p> <p>③第1学年導入時の内容(動詞関係)は、(【Unit1】各2時間扱い) 1)I'm/I'm not 2)I like / don't 3)can</p>
2 構成・分量	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 (be 動詞、一般動詞、三単現、現在進行形、疑問詞、代名詞の目的格、助動詞、感嘆文、未来のことを表す文、SVC、There is/are ～.) ・第2学年 (SV00、that 節、when 節、because 節、if 節、過去進行形、不定詞、動名詞、比較、受け身の文、間接疑問文、SV0+to do、SVOC、SV0+原形不定詞) ・第3学年 (現在完了、現在完了進行形、後置修飾、関係代名詞、仮定法、ディスカッションの様々な表現、ディベートの表現) <p>特徴としては、3年生でディスカッションやディベートの表現が入っている。</p> <p>②単元に関しては、冒頭で目標を示し、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確に、単元末では、やりとりや作文、発表する構成になっている。</p> <p>③語彙に関しては、小学校で既習扱いと見なした語を600語と設定し、中学校の新出語約1700語を加えた約2300語を扱っている。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 (be 動詞、一般動詞、助動詞 can、疑問詞 what、代名詞、疑問詞 where、when、三単現、過去形、現在進行形) ・第2学年 (過去形、接続詞 when、SV0、動名詞、不定詞 (名詞)、接続詞 that、未来形、接続詞 if、there is/are、SV00、不定詞 (形容詞)、助動詞 must、have to、It's～for 人 to 不定詞、不定詞 (副詞)、接続詞 because、比較級、最上級、同格、SVOC) ・第3学年 (受動態、現在完了形、間接疑問文、関係代名詞、分詞、仮定法) <p>特徴としては、複数の文法が同時に提示されている。</p> <p>②単元に関しては、扉→Part→Goal という一貫した構成になっており、目標 (Can-Do) を具体化した Goal 活動に向かって学習活動が設定されている。</p> <p>③語彙に関しては、小学校で既習語を578語と設定し、学習の対象となる総新語数は1659語としている。</p>	<p>①学習内容の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 (be 動詞、一般動詞、助動詞 can、複数形、疑問詞 what、代名詞 (主格)、疑問詞 when、where、三単現、進行形、look 形容詞、動名詞、不定詞 (名詞的用法)、疑問詞 which、一般動詞の過去形、be 動詞の過去形、接続詞、give00) ・第2学年 (未来形、接続詞 that、不定詞、不定詞を含んだ表現、must、have to、should、There is/are、疑問詞 to、接続詞、形容詞 that、call/made0C、want/tell 人 to、比較級、受動態) ・第3学年 (現在完了形、現在完了進行形、SV0that、間接疑問文、分詞、後置修飾、関係代名詞、make0C、仮定法、) <p>特徴としては、分詞と後置修飾がまとめられている。</p> <p>②単元に関しては、単元内ページごとに学習項目を活用できるもの【think&write、think&speak】が付属している。</p> <p>③語彙に関しては、小学校で既習語を約590語と設定し、学習の対象となる総新語数は約1850語と選定している。</p>
3 表記・表現	<p>①各課の目的・目標は、巻頭に年間の目標を意識させる項目がある。巻末のCan-Do自己チェックリストでは、5領域別にlessonごとに最初に日本語による目標と最後に日本語による振り返りができる。</p> <p>②音読の回数表記は、ページ上部にタリー式の表記がある。</p> <p>③小学校で習った単語の表記は、各ページに「小学校の発信語」としてまとめて表記されている。巻末「Word List」では、単語の前にマークを付けて表記されている。</p>	<p>①各課の目的・目標は、各課の扉に記載されている。また、巻末のCAN-DO Listでは、5領域別に単元ごとに自己評価ができる。</p> <p>②音読の回数表記は、記載されていない。</p> <p>③小学校で習った単語の表記は、各ページではまとめられていない。各ページの新出単語の欄では、単語の前にマークを付けて表記されている。巻末「Word List」でも同様である。</p>	<p>①各課の目的・目標は、各課の扉に【Unit Goal】として日本語で記載されている。また、巻末のCAN-DO Listでは、5領域別に自己評価ができる。</p> <p>②音読の回数表記は、記載されていない。</p> <p>③小学校で習った単語の表記は、「小 Words」として各ページに記載されている。巻末「Word List」では、単語の前にマークを付けて表記されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①サイズは変形B5版 (縦B5で横A4)。</p> <p>②単元以外のページは、各学期終わりに簡単な発表Projectがある。各単元終了後日常的な場面での表現【Useful Expressions】がある。各【Project】後に【Reading】。3学期には、Further Readingがある。</p> <p>③巻末資料は語彙や音声面を補うものを中心である。辞書ページでは小学校で既習の単語と中学校で初出の単語について、説明されている。</p> <p>④二次元コードは、各ページの内容に合わせた学習ページにつながり、本文音声・文法説明・言語活動動画などを見て学習 (予習) することができる。また、全教科共通の学びリンクにつながる。</p>	<p>①サイズは変形B5版 (縦B5で横A4)。</p> <p>②単元以外のページは、学期終わりにグループ学習での発表【You Can Do It】がある。単元と単元の間で日常的な場面での表現【Daily Life】がある。学期終わりに読み物教材【Let's Read】がある。</p> <p>③巻末資料は語彙や音声面を補う内容とともに、「学び方ガイド」で学習方法について解説している。辞書ページでは小学校で既習の単語と中学校で初出の単語について、説明されている。</p> <p>④二次元コードは、教科書の各ページに合わせた音声を聞いたり、動画を見たりできる。また、スピーキングを含む問題に取り組むことや教科書以外の補充用リーディング教材を読むこともできる。</p>	<p>①サイズはA4版。</p> <p>②単元以外のページは、各学期終わりに、簡単な文章作成や発表【Project】がある。各単元後、文法まとめ【Focus on Form】、日常場面での言語活動【Let's Talk / Listen / Write】が設定されている。</p> <p>③巻末資料は語彙や音声面を補うものを中心である。辞書ページでは小学校で既習の単語と中学校で初出の単語について、簡潔に説明されている。</p> <p>④二次元コードは、本文や新出語句、聞き取り教材の音声を聞いたり、本文アニメーションや目標文の解説動画を見たりして、予習・復習をすることができる。多様な自主学習をすることができる。</p>